

蓄積からの 新たな一歩

Take a New Step From Our History.

西村先生が退職され、新たな一歩を踏み出した都市デザイン研に、新体制1期目となる8名の新入生が加わりました。今号はそんな彼らの自己紹介を特集。



凡例：①生年月日 ②出身地 ③出身校 ④趣味 ⑤特技 ⑥好きな都市とその理由 ⑦今年の目標

Rsearch Student

Tatiana TATIS



- ① 1992/12/16
- ② PANAMA
- ③ Architect
- ④ ⑤ Watching movies and series, reading
- ⑥ Rome, because of its weather, art and history
- ⑦ Learn Japanese

Hiromu YAGAWA

箭川 展



- ① 1995/05/28
- ② 仙台
- ③ 東京大学理Ⅰ→工学部都市工学科都市計画コース
- ④ サッカー、サイクリング
- ⑤ 人の買った新しい服が分かる
- ⑥ 飯田橋、卒業設計で扱ったから、立体的にモノや人が行き交っている
- ⑦ やりたいことを全部やる

Chika YAMAGUCHI

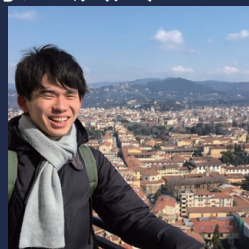
山口 智佳



- ① 1996/01/29
- ② 東京の端
- ③ 東京工業大学社会工学科時空間プログラム
- ④ 旅行、ゲーム
- ⑤ 基本どこでも寝られる
- ⑥ メルボルン、赤身肉とLRT、ふかふか芝生と海の全てがそろう街
- ⑦ 英語の勉強頑張ります

Kota HARA

原 洪太



- ① 1995/06/09
- ② 柿生（川崎市麻生区）
- ③ 東京大学理Ⅰ→工学部都市工学科都市計画コース
- ④ 旅行、読書
- ⑤ 楽しく飲む
- ⑥ 長崎、坂に張り付く家々と、賑やかな街中を走る路面電車が好き
- ⑦ やりたいことを両立する

Keita ODAJIMA

小田島 啓太



- ① 1994/07/06
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 東京大学理Ⅱ→農学部
- ④ サッカー観戦、B'z
- ⑤ 少林寺拳法
- ⑥ 神楽坂、狭い道の奥にある店の佇まいが好き・上賀茂、水の流れる音と社が良い雰囲気
- ⑦ 自己確立

Daiki FUJIWARA

藤原 大樹



- ① 1996/02/13
- ② 東京都文京区
- ③ 東京大学文Ⅱ→農学部
- ④ ⑤ ランニング、登山、ポケモン
- ⑥ JR大塚駅周辺、駅の裏表とにもある程度栄えていながら、二面性があるところ
- ⑦ 「都市工学を専攻している」と胸を張って言えるようになる

Takashi SENGOKU

仙石 宇



- ① 1995/04/28
- ② 東京都西東京市
- ③ 東京大学理Ⅰ→工学部都市工学科都市計画コース
- ④ 音楽鑑賞・演奏、スポーツ
- ⑤ 真っ当なことを言う
- ⑥ 恵比寿、台地の上と下、整然と雑然のコントラストが好きです
- ⑦ 東日本制覇

Rinko MAEYAMA

前山 倫子



- ① 1995/01/23
- ② 富山市
- ③ 東京大学理Ⅰ→工学部都市工学科都市計画コース
- ④ ⑤ 路上観察的なこと、ドラマや映画を見ること
- ⑥ 新宿、多様なところが好きです。大体どの町も好きです。
- ⑦ 学問と生活を両立させる

研究室会議、より " 密 " に

Our Laboratory to be More Frank!

text_TAJIMA/M2



▲研究室会議では博士課程の学生から M2, M1 まで、皆が積極的に発言しています。

4 月 11 日に開催された研究室会議で、中島先生より今年度の運営について説明がありました。その中で最も重要だったのは、研究室会議をもっとフランクにしていきたいという部分でした。これまでの会議では先生方が発言されることが多かったのですが、今年からは学生も積極的に質疑に参加することでより議論を活性化させていく狙いが。また会議の部屋に狭い部屋を利用すること、会議の頻度を増やすことも提案されており、研究室会議が様々な意味でより密度の濃いものになっていくことが予想されます。

新たな体制となった都市デザイン研究室はまだ動き出したばかり。都市と同じで、一人一人が積極的に活動することによってより良い研究室がつくれるということを忘れずにいきたいものです。

新編集長、就任！今年度抱負を語る

New Chief Talks About This Year's Resolution.

text_TAJIMA/M2

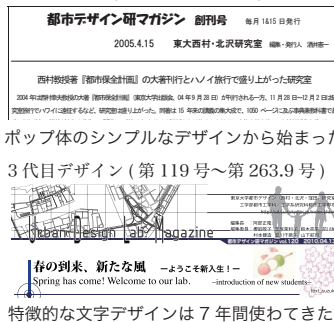
3 月 23 日に行われた追いコンの 2 次会にて、前編集長松田から次期編集長の指名が行われ、M2 中戸が第 14 代編集長に就任しました。そして新たに 4 名の M1 を加え、今年は 7 人でマガジン編集を行っていきます。

新編集部最初の仕事は誌面デザインの変更です。これまで 3 度のデザイン変更が行われていますが、今回の新デザインは、ヘッダーはセリフ体でシンプルにしつつ、表面にその月を象徴する大きな写真を載せるというもの。大きく変化しているように見えますが、ヘッダーの背景は 3 代目同じものを使用、白黒を基調としたデザインは創刊当時のデザインを思わせるものであったりと、これまでの歴史を取り入れた進化となっています。

M2 の 3 名が中心となり 3 月末から話し合いを重ねてこのデザインに辿り着きました。最初は慣れないかもしれませんが、是非とも新しくなった都市デザイン研マガジンもよろしくお願いいたします。

ヘッダーの変遷をまとめてみました！

初代デザイン (第 1 号～第 28 号)



特徴的な文字デザインは 7 年間使われてきた

2 代目デザイン (第 29 号～第 119 号)



ヘッダーとしてデザインされたのはこのとき

ポップ体のシンプルなデザインから始まった

3 代目デザイン (第 119 号～第 263.9 号)



特徴的な文字デザインは 7 年間使われてきた

4 代目新デザイン (第 264 号～)



新編集長よりごあいさつ

この度 14 代編集長に就任いたしました、修士 2 年の中戸翔太郎と申します。これから 1 年間、去年に引き続き岡山・但馬と、新しく編集委員として加わった原・藤原・前山・山口の 7 人体制で尽力してまいります。

昨年は研究室全体の大きな節目となる年でした。編集部では過去 13 年間に発行された全ての紙面を製本しアーカイブ化しましたが、その過程で全ての号に目を通したことで、マガジンの変わらないもの／変わりゆくものを再確認し、改めて研究室でマガジンを発行することの意味を問い直す機会となりました。今年度は新体制となった研究室でマガジンを発行する最初の年です。新たな一歩に際してレイアウトは一新いたしました、「不易流行」の精神のもと、13 年間で培われた伝統を引き継いでまいりたいと思っています。

今年度の方針についてですが、月刊紙・WEB マガジン・特集号という 3 つのスタイルを活かしていきたいと考えております。月刊紙は A4 一枚に思いを込め、研究室全体の活動を俯瞰してわかりやすく伝えること。WEB マガジンは筆者の一人称で、プロジェクトやイベントを臨場感を持って伝えること。特集号は明確なテーマと読みやすいデザインで、編集部の感じたことを伝えること。それぞれの媒体を使い分け、研究室の「今」が表現できれば幸いです。

手探りな点・至らない点も多々あるとは思いますが、1 年間見守っていただければと思います。

第 14 代編集長 中戸翔太郎

Information



今月から Information 欄も新デザインに。研究室の様子を伝える Hey, Listen の記事数が 2 本から 4 本に増えています。Web マガジンもよろしくお願いいたします！

Hey listen, - ちょっと聞いて！

4.10 PJ 報告会が開催されました。



毎年恒例のプロジェクト報告会。今年は小泉研からの発表が見られたり、学部生も多く見に来ていたり大盛況でした。(M2 但馬)

4.12 UDCS にて奮闘中！



築 100 年の町家「雲乃井」を改修した異色の UDC が三國にオープン！西村センター長、中島仲副センター長、ディレクター矢吹が奮闘中。(矢吹)

4.20 輪講に混じって



榎野先生が開講されている輪講へ参加、高島平についての説明をしてきました。少しでも役に立てればと。(M2 但馬)

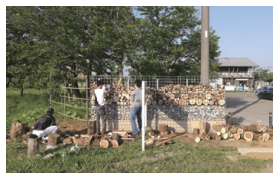
4.22 宇和海に行ってきました。



復興デザインスタジオの現地調査で愛媛県南予地域に行きました。南海トラフ地震に備えて今できることは何か懸命に考えています。(M1 前山)

4 月の Web 記事

<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/blog/>



4.16 上野まちなるき

4.28 手賀沼新割り WS (作成中)

5 月の予定

Lab Meeting

10th, 14th, 24th

02nd (Wed.) 富士吉田 PJ 現地見学
05th-07th 内子 PJ 現地訪問 (五十崎大風合戦)
09th (Wed.) 高島平現地まちあるき
12th (Sat.) 手賀沼 PJ 新割りワークショップ
15th-18th 内子現地訪問 (住民 WS 実施)
16th (Wed.) 上野 PJ 協議会
19th-21st 三國祭

✖ 編集後記

「最近の編集後記は反省しすぎだ」と言われ続けているので今月は明るい話を。春になりプロ野球が開幕、野球好きの私にとっては楽しい季節がやってきた。最近は最良の球団もそこそこ好調なので気分もすごく良い。しかしちょっとと熱が入り過ぎなのか、負けたときには落ち込むようになってしまいう問題が発生。いつも勝てるわけではないので、勝敗に影響を受けすぎる部分は何かしていかないと...ということで結局今月も反省してしまっただ。反省。(M2 但馬)